

53

学習

少年の日の思い出

学習のねらい

- ① 情景描写から、場面がどのように展開しているかを捉える。
 ② 人物描写から、登場人物の心情の変化を読み取る。

確認

文章の流れをつかもう

「少年の日の思い出」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。

- ①～⑤にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

現在

幼い日の思い出を客と話し合う。

「私」……一年前から、また、ちよう集めをやっている。

客……① 的な収集家→自分で思い出をけがしてしまった。

回想

「僕（客）」が十歳の頃。

ちよう集めの② になり、ひどく心を打ち込む。

コムラサキをとらえ、得意のあまり、隣のエーミールに見せるが、こつぽどく批評され、喜びを傷つけられる。

「僕」が十二歳の頃。

エーミールが、クジャクヤママユを持っているといううわさ。

この宝を手に入れたという③ から、生まれて初めて盗みを犯す。

ポケットにつつまみ、ちようを壊してしまう。

美しい、珍しいちようを自分がつぶしてしまった苦しみ、後悔④。

エーミール…謝る「僕」を④ 的に見つめるだけ。

一度起きたことは、もう⑤ のできないものだど悟り、自分のちようを粉々に押しつぶしてしまった。

ア 償い イ 軽蔑 ウ とりこ エ 熱情 オ 欲望

確認

主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

前半と後半で語り手が異なる。後半の語り手は「僕（客）」。少年時代にちよう集めをしていた「僕」は、近所に住む少年エーミールの珍しいちようの標本が欲しくなって盗み、それを壊してしまった。「僕」は自分の行いに対する苦しみを母に打ち明け、エーミールに謝罪をしたが、軽蔑されたうえ、許しを得ることもできなかった。そして「僕」は自分の持つちようの標本を⑤すべて押しつぶすのだった。

ア エーミールは友人を許すことのできない、心の狭い人物だ。
 イ エーミールは「僕」を許さなかったが、母は許してくれた。
 ウ 「僕」は償えないことがあると知り、後悔した。

参考資料

【作者・訳者紹介】

ヘルマン・ヘッセ…一八七七年～一九六二年 ドイツの詩人・小説家。一九四六年に

ノーベル文学賞受賞。

高橋健二…一九〇二年～一九九八年 東京都出身。ドイツ文学者。代表的な著書に

「グリム兄弟」などがある。

漢字の読み書き

次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

- (1) 父の書斎

□(2) 青く縁取る

□(3) 微笑する

□(4) 甲高い声

□(5) テレビ塔

□(6) 網をかける

□(7) 赤い斑点

□(8) 車を自慢する

□(9) 友人を妬む

□(10) 活気を呈する

□(11) 真実を悟る

□(12) 雨は依然やまない

□(13) 輕蔑する

□(14) 喉笛を鳴らす

□(15) 償いをする

□(16) 椅子にコシ掛ける

□(17) オサナい妹

□(18) アツガミを切る

□(19) 門をトざす

□(20) 景色をナガめる

□(21) マき物

□(22) 空気を大きくスう

□(23) キユウ力を取る

□(24) ミヤクをとる

□(25) 果物がイタむ

□(26) ドアがコワれる

□(27) ネウちのある絵画

□(28) 白熱した試合にコウフンする

□(29) 道をタズねる

□(30) シコクを確認する

重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

① 熱情		② 色あせる		③ とりこ		④ むさぼる	
例文	意味	例文	意味	例文	意味	例文	意味
	彼の熱情が、周囲の人の心を打った。		時がたつて色が薄くなる。		あることに夢中になり、離れられないこと、またその人。		いくらでも、きりなく欲しがる。

問題

次の各文の空欄にあてはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄にあてはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) おいしいの中から母の□セーターが出てきた。

□(2) 大好きな本を□ように読む。

□(3) □にまかせて行動したために、周囲に迷惑をかけてしまった。

□(4) 世界的に有名な歌手の□になる。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

- (1) — 線①「彼」とありますが、この人物と同じ人物を表している言葉を第
一段落から探し、書き抜きなさい。

- (2) — 線②「外の景色は……閉ざされてしまった」とありますが、どのよう
な様子を表していますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えな
さい。

ア ランプの明かりで、外の景色が鮮やかに見えている様子。
イ 窓ガラスにランプが映り、外の景色が見えなくなる様子。
ウ 室内が明るくなったため、暗い外が見えなくなった様子。
エ 色あせた湖だけが光り、辺りの景色がかすんでいる様子。

--

- (3) — 線③「その上」とありますが、何の上ですか。「の上。」に続くように
文章中の言葉を使って五字以上十字以内で書きなさい。

の上。

- (4) — 線④「熱情的な収集家だった」とありますが、ちやうどの扱いに慣れて
いる動作の描写を文章中から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

35

30

読解のコツ

◎情景描写から、場面がどのように展開しているかを捉える。

↓学習のねらい①

情景描写とは、場面の様子を描くことで場面の展開や登場人物の心情を暗示する表現のことです。本文12行目で、「私」がランプに火を灯したあとの描写に注目しましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

この文には、「闇」「不透明」「閉ざされて」など、ほの暗い情景を描く言葉が使われています。このことから、このあとの場面（客）の話が明るなものではないということが推測できます。

□(5) —線⑤「もう、結構」とありますが、なぜそのように言ったのですか。

最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ちようを、もう見あきてしまったから。

イ ちようを傷めてはいけなと思ったから。

ウ 美しいちようを見て、満足したから。

エ 昔の思い出がよみがえったから。

□(6) —線⑥「その思い出が不愉快でもあるかのように」とありますが、なぜ「不愉快」のですか。「彼」の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

□(7) —線⑦「ひとつ聞いてもらおう」とありますが、どのような話だと考えられますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ちようを集めた楽しい思い出話。

イ ちようにまつわる苦い思い出話。

ウ 珍しいちようをとらえた自慢話。

エ 美しいちようを逃がしてしまった失敗談。

--

--

少年の日の思い出 (2)

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

- (1) — 線①「それ」とありますが、何を指していますか。文章中から探し、五字で書き抜きなさい。

- (2) — 線②「少年の頃……味わった気持ち」というのは、どのような気持ちですか。文章中から四十五字以内で探し、初めと終わりの五字をそれぞれ書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

- (3) — 線③「無数の瞬間」とありますが、この例が具体的に書かれている一文を文章中から探し、初めの五字を書き抜きなさい。(句読点も文字数に数えます。)

- (4) — 線④「激しい欲望」とありますが、どのような欲望ですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 珍しいちようを見つけないという欲望。
イ ちようの生態を観察したいという欲望。
ウ 近くでちようを見つめたいという欲望。
エ 美しいちようをとらえたいという欲望。

--

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

(注) 胴乱…植物採集や昆虫採集に用いる、ブリキまたはトタンで作った容器。肩からさげる。

展翅…標本にする昆虫などの羽を広げて、板に留めること。

□(5) —線⑤「宝物」とは、何を指していますか。文章中から探し、二字で書き抜きなさい。

□(6) —線⑥「重大で、…自分の妹たちだけに見せる習慣になった」とありますが、なぜこのような習慣になったのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の大切な収集は、妹たちだけに見せたかったから。

イ 自分の設備が幼稚なので、仲間に見せたくないかったから。

ウ 重大な収集を仲間に見せると妬まれてしまうから。

エ 自分の収集を自慢してはいけなかったから。

□(7) —線⑦「この少年は、非の打ちどころがないという悪徳をもっていた」とありますが、どのような少年だったのでしょうか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 勉強がよくできて、よく知恵が働く少年。

イ 頭が良く青白い顔をして、気味が悪い少年。

ウ 完全すぎて子供らしくなく、親しみが持てない少年。

エ 力が強く、けんかは一度も負けたことがない少年。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1)

——線①「紙切れを取りのけたいという誘惑」とありますが、これは何をしたいということを意味していますか。文章中の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

□(2)

——線②「四つの大きな不思議な斑点が……僕を見つめた」について、あとの問いに答えなさい。

A このときの「僕」の気持ちとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 見たいと思っていた願いを果たし、満足する気持ち。
イ すばらしいものを見ることができ、誇らしい気持ち。
ウ 美しい斑点の魅力に引き込まれるような気持ち。
エ 誘惑に負けた自分のことを恥ずかしく思う気持ち。

B ここに使われている表現技法として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 擬人法 イ 倒置
ウ 対句 エ 反復

☐
☐

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

35

30

読解のコツ

◎人物描写から、登場人物の心情の変化を読み取る。

↓学習のねらい②

人物描写には、人物の気持ちや言動の様子が表現されている直接的な描写と、間接的な描写があります。間接的な描写の場合は、場面の展開や情景描写が暗に示しているものに注意して、人物の心情を捉えます。本文31行目から34行目に注目しましょう。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

□(3) — 線③「生まれて初めて盗みを犯した」とありますが、部屋を出るまでの間「僕」の心を占めていたのはどのような心境でしたか。文章中から探し、六字で書き抜きなさい。

□(4) — 線④「僕の良心は目覚めた」とありますが、このとき、「僕」は自分のことをどう思ったのですか。文章中から探し、十五字で書き抜きなさい。

□(5) — 線⑤「急いで引き返し……立っていた」とありますが、「僕」は何のためにエーミールの部屋に戻ったのですか。文章中の言葉を使って簡潔に書きなさい。

□(6) — 線⑥「泣かんばかりだった」とありますが、このときの「僕」の気持ちとして適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。
ア せっかく手に入れた獲物を手放さなければならぬ嘆き。
イ ちやうを元に返しておくことができなくなった嘆き。
ウ 返そうとした宝を、また盗みたくなった嘆き。
エ 美しいちやうがつぶれてしまった嘆き。
オ 親しい友人の信頼を裏切ってしまった嘆き。

まとめテスト

少年の日の思い出

教科書

P. 206 ~ P. 221

得点

100点

136

1 次の文の空欄にあてはまる言葉をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。
2点×8 16点

□(1) ちょうの標本を集めていた「僕」は少年エーミールのちょうがどうしても欲しくなり、とっさにポケットに入れてしまう。そのことで□(1) ことになった「僕」が母にそのときのことを打ち明けると、母はエーミールに□(2) ように言う。「僕」はエーミールのところへ行くが、□(3) ことはできず、深い□(4) のもと、自らのちょうをすべてつぶしてしまった。

ア 謝罪する イ 許しを得る ウ 軽蔑する エ 苦しむ
オ 後悔 カ 未練

□(2) 「少年の日の思い出」は、前半と後半で□(1) が異なっている作品である。「私」と□(2) が□(3) で話をしている前半部分と、「□(2) (僕)」が自身の少年時代を□(4) する後半部分で構成されている。

ア 書斎 イ エーミール ウ クジャクヤママユ
エ 読み手 オ 語り手 カ 回想 キ 現在 ク 客

2 次の線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

2点×12 24点

□(1) 敵を攻撃する □(2) 丹念な作業 □(3) ほころびを繕う
□(4) 真実を悟る □(5) 透明な瓶 □(6) 耳栓をする
□(7) バツを受ける □(8) ケツカンのある品 □(9) アミをはる
□(10) 声がフルえる □(11) ツグナいをする □(12) 弟のおユウギ会

3 次のア～カの各文のうち、線の使い方が正しいものをすべて選びなさい。

完答 10点

ア あなどるような視線を浴びて、僕は身をこわばらせた。
イ 彼女のむさぼるように勉強する姿を見習うべきだ。
ウ 非のうしろどころがある完璧な演技を披露する。
エ 下劣な良心をもって試合に臨む。
オ 僕が悪いことをした事実は、言い訳をするよしもない。
カ 懸命に根掘り葉掘り大根を掘りだす。

□

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(ヘルマン・ヘッセ／高橋健二訳「少年の日の思い出」より)

25 20 15 10 5

□(1) —線①とありますが、このときの「僕」の気持ちとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の罪を再確認し、謝ろうとする気持ち。

イ どの言い訳したら許してもらえるのかを考えてあせる気持ち。

ウ ちよの美しさが失われてしまったことをがっかりする気持ち。

エ ちよの羽を懸命に直そうとしている様子にあきれる気持ち。

10点

□(2) —線②とありますが、このようなしぐさをしたのはなぜですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 標本を壊された怒りを、どのように抑えればよいのかわからなかったから。

イ 犯人は悪いやつだと思ったのに、身近な人物の仕業だとわかったから。

ウ 犯人が僕だとわかり、冷静になろうと思ったから。

エ 犯人は猫に決まっているのに、僕がウソをついていると思ったから。

10点

□(3) —線③とありますが、このときの「僕」の気持ちを「代わりに」という言葉を使って、考えて書きなさい。

15点

□(4) —線④とありますが、結局「僕」は飛びかかりませんでした。それはなぜですか。「僕」の気持ちも踏まえ、考えて書きなさい。

15点